

1 第7章の構成案

第 1 編

都市構造・空間のあり方を設定する視点

(1)これまでの都市づくりの経緯

(2)課題に対応した都市構造・空間のあり方

(3)基本目標・重点戦略を展開する場としての都市構造・空間

以上の 3 つの視点から、第 7 章の都市構造・空間のあり方を設定します。

第 2 編

都市づくりの基本的な考え方

(1)これまでの都市づくりの経緯

(2)社会経済情勢の変化や課題に対応した都市構造・空間

(3)基本目標・重点戦略を展開するための都市構造・空間

第 3 編

都市構造の大枠

第 2 編の 3 つの視点を踏まえて、都市構造の大枠などを以下のとおり設定します。

(1)拠点、住宅市街地

(2)広域連携

(3)みどり

第 4 編

都市づくりの方向（基本目標・重点戦略の実現に向けて）

社会経済情勢の変化や課題への対応及び、基本目標・重点戦略を展開するために、都市構造の大枠で示す場所や都市基盤において、どこで・どのような都市づくりを進めていくべきか、その方向を設定します。

場所	1 都心
	2 拠点
	3 高度利用住宅地
	4 郊外住宅地
都市基盤	5 広域連携
	6 みどり
	7 安全安心な都市空間

概 要

(1)これまでの都市づくりの経緯

- ①都心を中心として、概ね同心円上に市街地が拡大（環状通の内側に旧市街地、外側に新しい市街地を形成）
- ②地下鉄などの大量公共交通機関と対応した土地利用の誘導、総合的な交通ネットワークの確立、みどりの保全・創出

(2)札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化と課題（抜粋）

- ①人口減少の到来と急速な少子高齢化の進展
- ②グローバル化の急速な進展、東アジア地域の急速な経済成長
- ③地球環境問題の深刻化と意識の高まり
- ④家族や地域のつながりの弱まりと新たな公共の担い手の成長
- ⑤東日本大震災の発生
- ⑥市街地内のみどりの減少
- ⑦ライフスタイルの多様化、市街地環境への市民意識の向上
- ⑧厳しい財政状況

(3)基本目標・重点戦略を展開する都市構造・空間

- ①基本目標及び重点戦略を展開する場や都市基盤のあり方を設定します。
- ②外延的な拡大の抑制、既存の市街地内の質的充実に加え、将来的な人口規模を見据えた都市空間のあり方の検討が必要。

(1)拠点、住宅市街地

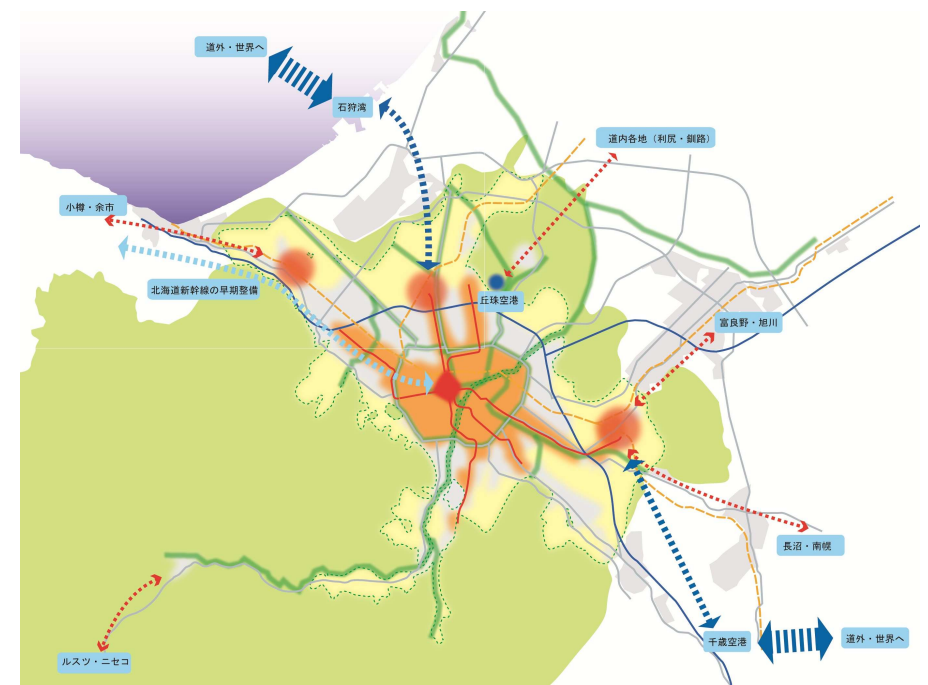
- ①都心：札幌・北海道の中心
- ②拠点：地域の生活拠点
- ③高度利用住宅地：利便性の高い市街地
- ④郊外住宅地：良好な環境の低層住宅地

(2)広域連携

- ①道外・世界と札幌を結ぶ広域交通体系の充実
- ②道内各地の多様な資源とつながる北海道の中心都市
- ③北海道新幹線の整備により、特に東北との連携強化

(3)みどりのネットワーク

- ①都市の魅力と価値の向上
- ②生物多様性の確保
- ③地域コミュニティの活性化



■都心

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・グローバル化の急速な進展
- ・北海道新幹線の整備が決定
- ・地球環境問題の深刻化と意識の高まり

札幌市の主な特徴・課題

- ・創造的な活動の展開
- ・北海道の中心都市としての役割

関連する重点戦略のテーマ(仮)

○経済・雇用部会

- ・国際的なマーケティング戦略の促進
- ・グローバル化の促進
- ・物流・人的交流のネットワーク環境の整備
- ・SAPPOROの魅力と個性の発信
- ・創造的なものづくりへのチャレンジ
- ・創造的なものづくり産業を担う人財の育成と活用

○都市構造部会

- ・自立・分散型エネルギーネットワークの展開
- ・環境にやさしい移動手段の構築

都市づくりの方向

- ◇北海道の中心都市・札幌にふさわしい魅力ある空間を形成するため、高次な都市機能の集積、人を中心とした空間の形成を進めます。
- ◇良好な景観・みどりの創出などにより魅力的な都市の風景を形成します。
- ◇『創造都市さっぽろ』を象徴的・集約的に具現化する場の創出を進めます。
- ◇都心居住の場、新たな起業の場として期待される創世川以東地区において、官民の協働によるまちづくりを推進します
- ◇『環境首都・札幌』を推進する象徴的な取り組みを進めます。
- ◇災害に強く、エネルギー効率の良い都市づくりに向けて、自立・分散型のエネルギー供給体制を確立します。
- ◇まちづくりと一体となった路面電車の延伸の検討を進め、にぎわいの創出と共に、環境にやさしいまちづくりを進めます。

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・まちづくりのルールを事前に明確化することにより、にぎわいの誘導や快適な歩行者空間の創出、環境負荷の低減に寄与する建築計画を誘導
- ・建築計画に対する事前協議の場の充実などにより、良好な景観計画の誘導
- ・緩和制度などの効果的な運用により、良好な建築計画へと誘導
- ・北海道新幹線の整備を見据えた札幌駅周辺のまちづくりの検討
- ・創世Ⅲ区の整備をはじめとする都市開発の契機を捉え、創造的な活動の場を創出
- ・都心居住の場、新たな起業の場として期待される創成川以東地区では、官民の協働によりまちづくりの基本方針を定め、これに即したまちづくりを進める。
- ・自立・分散型エネルギーネットワークへの接続の促進、エネルギーセンターの誘導により、エネルギーネットワークを拡大
- ・まちづくりと一体となった路面電車の延伸の検討、レンタサイクルやサイクルシェアリングの効果的な利用手法の検討

■広域連携

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・グローバル化の急速な進展、東アジア地域の急速な経済成長
- ・東日本大震災の発生

札幌市の主な特徴・課題

- ・北海道の中心都市としての役割
- ・脆弱な経済・産業基盤

関連する(仮)重点戦略のテーマ

○経済・雇用部会

- ・国際的なマーケティング戦略の促進
- ・グローバル化の促進
- ・物流・人的交流のネットワーク環境の整備
- ・SAPPOROの魅力と個性の発信
- ・創造的なものづくりへのチャレンジ
- ・創造的なものづくり産業を担う人財の育成と活用

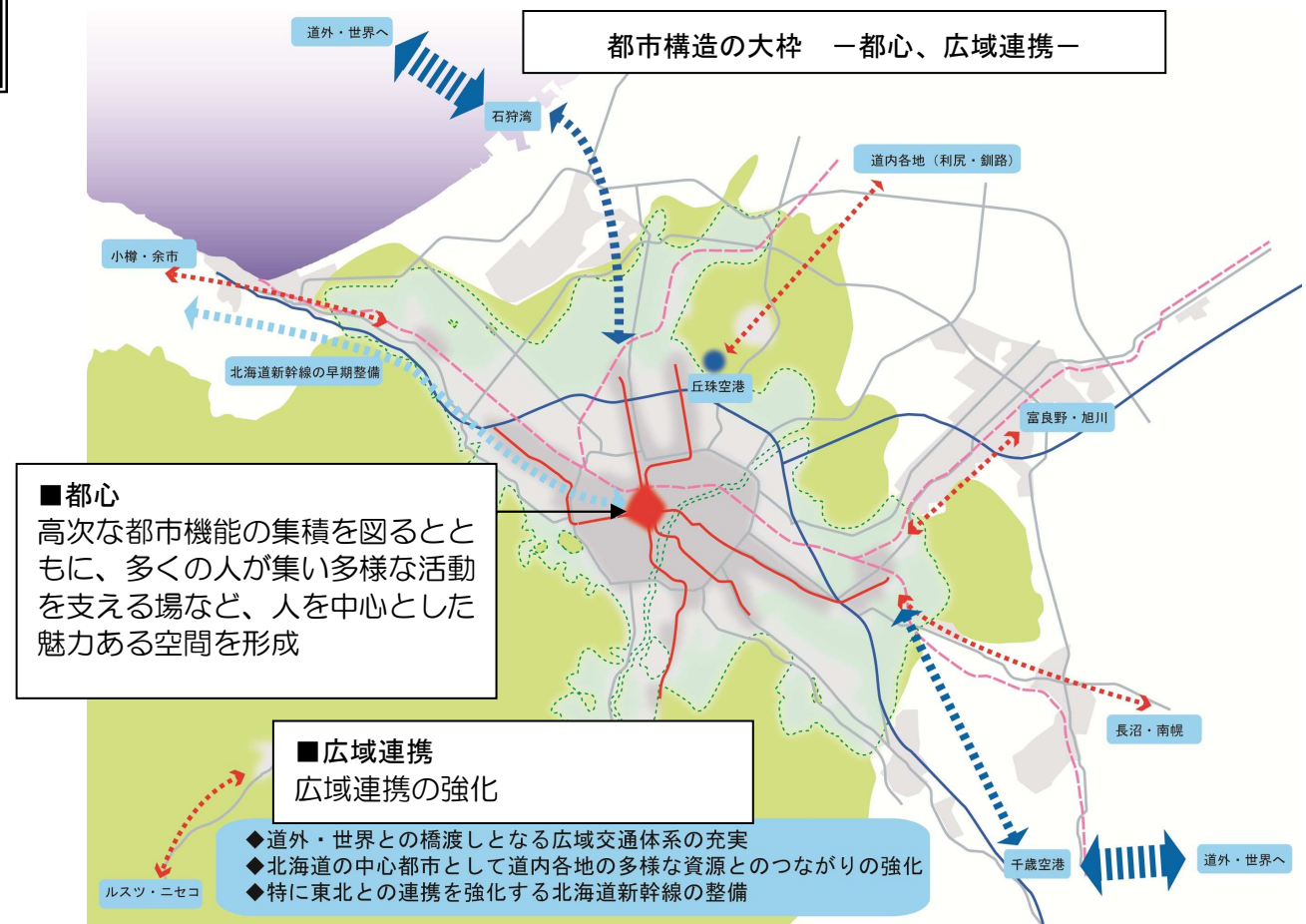
都市づくりの方向

- ◇道外・世界と札幌を結ぶ広域交通体系を充実します。
- ◇北海道の中心都市として、道内各地の多様な資源とのつながりを強化します。
- ◇北海道新幹線の早期整備の実現により、道外、特に東北との連携を強化します。

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・都心アクセス機能の強化
- ・骨格道路軸の整備
- ・周辺他都市の資源（観光、農業など）を活用した施策・取り組みの展開
- ・北海道新幹線の早期整備に向けた取り組みを推進

都市構造の大枠 —都心、広域連携—



■拠点

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・人口減少の到来と急速な少子高齢化の進展
- ・市街地内のみどりの減少
- ・ライフスタイルの多様化、市街地環境への市民意識の向上
- ・地球環境問題の深刻化と意識の高まり

関連する(仮)重点戦略のテーマ

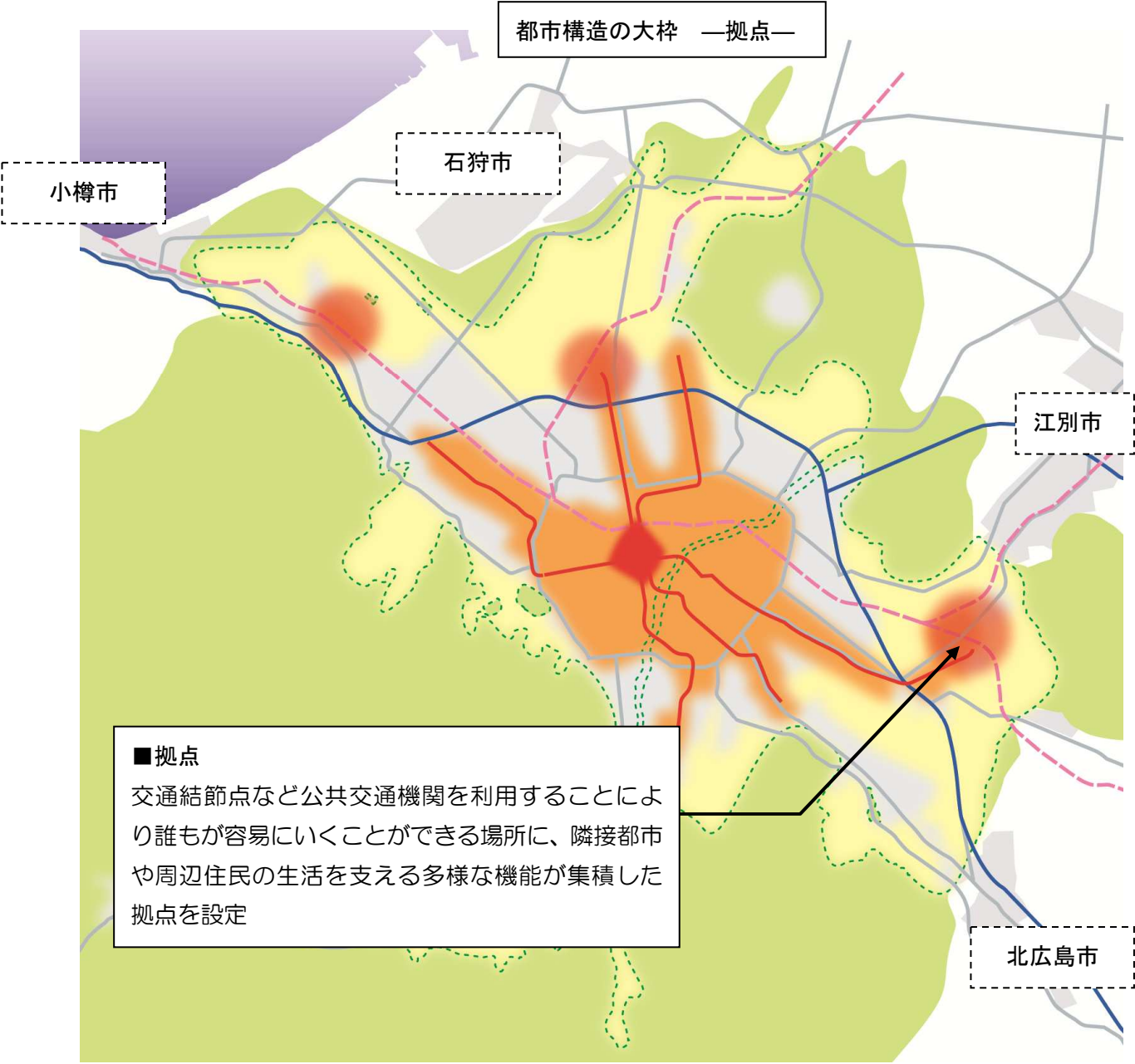
- 地域・コミュニティ部会
 - ・歩いて暮らせるまちづくりの推進
- 都市構造部会
 - ・エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり

都市づくりの方向

- ◇交通結節点など公共交通を利用して誰もが容易にいくことができる場所に、隣接都市や周辺住民の生活を支える多様な機能が集積した拠点を設定します。
- ◇スポーツ文化や国際的集客交流機能などの特徴的な機能の集積により、札幌の魅力や活力をいっそう高めます
- ◇歩いて暮らせるまちづくりの推進に向けた多中心核都市構造のあり方を検討します

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・緩和制度をはじめとするインセンティブの効果的な運用により、商業機能や今日的なニーズが高まっている機能（医療・福祉・子育て支援施設など）などの戦略的な誘導



■住宅市街地（高度利用住宅地、郊外住宅地）

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・人口減少の到来と急速な少子高齢化の進展
- ・家族や地域のつながりの弱まりと新たな公共の担い手の成長
- ・ライフスタイルの多様化、市街地環境への意識の向上
- ・地球環境問題の深刻化と意識の高まり

関連する(仮)重点戦略のテーマ

○地域・コミュニティ部会

- ・人と人のつながりを広げる“たまり場”づくり
- ・歩いて暮らせるまちづくりの推進

○都市構造部会

- ・生活圏におけるエコモビリティの強化
- ・エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり

都市づくりの方向

住宅市街地全般

◇札幌らしいライフスタイルに応じた多様な住環境を提供します。

郊外住宅地

- ◇超高齢社会の中においても、誰もが生き生きと生活することができる環境をつくります。
- ◇生活圏におけるエコモビリティの検討を進めます。
- ◇エリアマネジメントの基本的な枠組みの検討を進めます。
- ◇将来的な人口規模を見据えた都市空間のあり方を検討します。

高度利用住宅地

- ◇居住機能と生活利便機能が複合化した歩いて暮らせるまちづくりを進めます。
- ◇多くの人々が住まう高密度な市街地を形成することにより、地下鉄などの都市基盤を有効に活用すると共に、移動エネルギーの少ない効率的な都市づくりを進めます。

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・市民なライフスタイルを支える多様な住宅市街地の形成（高度利用住宅地～郊外住宅地）
- ・時代の変化や社会ニーズに的確に対応した土地利用計画制度の運用
- ・ニーズに応じた住みかえの支援
- ・生活圏の移動を支えるエコモビリティの検討
- ・エリアマネジメントの基本的な枠組みの検討
- ・地域の利便性や安心な暮らしの創出に寄与する計画を誘導するため、周辺環境への配慮を前提としながら、インセンティブの効果的な運用を検討（民間活力を効果的に呼び込む方策の検討）

都市構造の大枠 —住宅市街地—

□高度利用住宅地

都心周辺部や地下鉄沿線などの利便性の高い地域。多くの市民が高い利便性を享受できると共に、通勤時間や移動距離の短縮による都市の効率化や環境負荷の低減を図るために、高密度な市街地を形成

□郊外住宅地

郊外部に位置する低層住宅を中心とした住宅地。戸建て住宅を主体とした良好な環境を維持しつつ、地域の生活を支える生活利便施設が必要に応じて立地する市街地を形成

■みどりのネットワーク

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・市街地内のみどりの減少
- ・ライフスタイルの多様化、市街地環境への市民意識の向上
- ・生物多様性への関心の向上

都市づくりの方向

- ◇河川や幹線道路などによるみどりのネットワークを構築し、都市の「うるおい」や「やすらぎ」を創出すると共に、生物多様性の保全を図ります。
- ◇市街地を取り巻く自然緑地や農地の保全に加え、大規模な公園や緑地など、拠点となるみどりの創出により、環状グリーンベルト構想を推進します。
- ◇市民・企業などによるみどりの創出活動を通じて、みどりの充実や自然力の回復と共に、地域コミュニティの醸成を図ります。

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・河川緑化や街路樹の保護・育成
- ・地域性緑地制度などの効果的な運用
- ・市民活動のための機能や支援の充実
- ・面的開発や建築行為とあわせたみどりの創出を誘導

■安全安心な都市空間

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化

- ・人口減少時代の到来と急速な少子高齢化の進展
- ・東日本大震災の発生

札幌市の主な特徴・課題

- ・厳しい財政状況下での行政サービスのあり方

都市づくりの方向

- ◇持続可能な都市の構築に向けて、都市基盤・公共施設の計画的かつ効率的な維持・保全の方策を検討します。
- ◇災害に強い都市とするために、建物の耐震化や不燃化の促進、避難場所の整備・確保などを進めます。

基本目標・重点戦略を実現するための想定取組み

- ・都市基盤の計画的かつ効率的な維持・保全の計画を策定
- ・公共施設の効率的な配置を検討
- ・耐震化・不燃化などの促進
- ・冬期間の災害時、寒さから避難者を守ることができる避難場所の整備・確保

都市構造の大枠 —みどりのネットワーク—

■コリドー

市街地を貫通し、都市のうるおいをもたらすオープンスペースの軸

■環状グリーンベルト

札幌の自然条件を生かしながら、市街地をみどりの帯で包み込む。

